

# とちぎ市議会だより

TOCHIGI CITY ASSEMBLY NEWS

第45号(6月定例会)

2020.8.20発行

ありがとう!  
力を合わせて乗り越えよう!

<b>特集</b>	
<b>正副議長インタビュー</b> .....	2~3
議員報酬・政務活動費削減	5
政務活動費収支状況報告.....	14

市民憲章の制定.....	6
(6月定例会で決まったこと)	
9名の議員が市政を質す	8
(一般質問)	
表紙写真の説明.....	15

※表紙写真は、医療従事者の笑顔をお届けするため、一時マスクを外して撮影いたしました。感染防止には十分配慮いたしました。

# 議会 人事

## 梅澤米満議員を選出

定例会初日、正副議長の選挙が行われました。本市議会では、選挙の前に議長又は副議長就任を希望する議員による所信表明会を開催しています。所信表明会では、他の議員からの質疑応答もあり、その様子は全て、ケーブルテレビやインターネットを通じて生放送されました。

就任したばかりのお二人に早速インタビューをしました。



小堀良江 議長

議長として、どのように議会を運営していくお考えですか。

まずは所信表明会で述べた5点の実現に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

所信表明会で述べられた5点について、特に力を注ぎたいことは何ですか。

特に議会改革とこれからの議会の在り方の検討を進

めていきたいと思っています。

その目標に向けて、どのような取り組みをお考えですか。

災害や感染症対策として、さらなるタブレットの有効活用を図りたいと考えています。非常事態においてこそ、議会はその役割を果たさねばなりません。各議員がそれぞれ職責を果た

### 議長選挙に向けた所信表明会

- ・議会の雰囲気を変え、栃木市を変えたい。
  - ・市長を含めた執行部と議会の距離感を縮めたい。
  - ・議会改革を積極的に進めたい。
- (議会全般に関すること、タブレットの活用、広報広聴に関すること、一般質問に関することについて)



次に登壇した千葉正弘議員

- ・議員の意見を集約し、引き続き議会改革を進めたい。
- ・中立・公正な議会運営を進めたい。
- ・将来を見据えた議会の在り方を検討したい。
- ・執行部との連携、協力を努めたい。
- ・議会事務局の体制強化を図りたい。



はじめに登壇した小堀良江議員

### 副議長選挙に向けた所信表明会

これまでの経験を生かし、本市発展のため、また、円滑な議会活動のために、議長を側面から助け、頑張りたい。

- ・効率的でわかりやすい議会運営
- ・議会改革の推進
- ・執行機関、議会、市民の連携・協力議長を補佐し、これらを進めたい。



次に登壇した茂呂健市議員



はじめに登壇した梅澤米満議員

# 議長に小堀良江議員、副議長に

せるよう、情報共有の有効なツールとして活用し、あわせてウェブを使ったオンライン会議の準備も進めたいと考えています。

新しい生活様式の中で議会がどうあるべきか、その在り方を検討し、議会改革をさらに進めていきたいと考えています。



梅澤米満 副議長

副議長として、抱負を聞かせください。

議長を支え、一緒に議会改革を進めてまいりたいと考えています。また、これまでの経験を生かし、円滑な議会運営、執行部との連携を図り、議長を補佐していきたいと思っています。特に意識することは何ですか。

議長は、大変多忙でありますので、特に議長不在時などは、しっかりと議長の代理



正副議長に聞きました

を務めたいと思っています。また、昨年の台風被害からの一日も早い復旧や感染症対策についても、議長と協力しながら取り組んでまいりたいと考えています。

## 議長選挙



小堀議員、千葉議員ともに14票で得票数が同数であったため、地方自治法に基づきくじ引きで小堀議員が議長に当選しました。



所信表明の内容に対して、他の議員からの質問があり、考えを述べました。

## 副議長選挙



梅澤議員が21票獲得し、副議長に当選しました。



厳正なる開票の結果

# 議会 人事

## 監査委員に入野登志子議員を選任 各委員会の構成も決まる

◎委員長 ○副委員長

議会選出の監査委員には、入野登志子議員が選任されました。  
また、各常任委員会、議会運営委員会の委員も選任され、続いて正副委員長が互選されました。

議員さんが  
監査委員になるの？



入野登志子 議員

### 総務 常任委員会

- ◎ 中 島 克 訓
- 大 浦 兼 政
- 青 木 一 男
- 入 野 登 志 子
- 関 口 孫 一 郎
- 梅 澤 米 満
- 福 田 裕 司
- 天 谷 浩 明

※監査委員について

栃木市には2人の監査委員がいて、そのうち1人は議員の中から選任することになっています。

監査委員は、市の財務に関する事務などについて、法令に違反していないか、効率的に行われているかを監査しています。

### 建設 常任委員会

- ◎ 永 田 武 志
- 森 戸 雅 孝
- 大 谷 好 一
- 茂 呂 健 市
- 福 富 善 明
- 大阿久 岩 人
- 小 堀 良 江

### 産業教育 常任委員会

- ◎ 針 谷 正 夫
- 小久保 かおる
- 坂 東 一 敏
- 針 谷 育 造
- 白 石 幹 男
- 広 瀬 義 明
- 松 本 喜 一

### 民生 常任委員会

- ◎ 氏 家 晃
- 浅 野 貴 之
- 小 平 啓 佑
- 川 上 均
- 古 沢 ちい子
- 内 海 まさかず
- 千 葉 正 弘

13ページで  
新しい広報委員を  
紹介しているよ。



### 広報 委員会\*

- ◎ 古 沢 ちい子
- 小 平 啓 佑
- 森 戸 雅 孝
- 浅 野 貴 之
- 川 上 均
- 青 木 一 男
- 内 海 まさかず
- 福 田 裕 司
- 中 島 克 訓

### 議会運営 委員会\*

- ◎ 大 谷 好 一
- 川 上 均
- 森 戸 雅 孝
- 小久保 かおる
- 針 谷 育 造
- 氏 家 晃
- 松 本 喜 一
- 福 田 裕 司
- 中 島 克 訓

※ 6月定例会終了後、会派の変更があったため、広報及び議会運営委員会の委員に変更がありました。本ページでは変更後(7月8日現在)の委員を掲載しています。

## 新型コロナウイルス感染症対策のために ～ 議員提案による特例条例を可決 ～

本市議会では、新型コロナウイルス感染症対策の財源確保を目的として、2つの議案を議員案として定例会初日（6月5日）に提出しました。この2つの議案は、その日のうちに審議され、賛成多数（賛成27反対1）で可決されました。（審議結果は7ページをご覧ください。）

### 議員案第1号 可決

#### ○「栃木市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例」を制定

令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、議員報酬を5パーセント削減します。  
これにより、全議員29名のトータルで5,553,000円の歳出が削減されます。

### 議員案第2号 可決

#### ○「栃木市議会政務活動費の交付の特例に関する条例」を制定

令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、政務活動費の一か月あたりの上限額を1人当たり30,000円から15,000円に削減します。

これにより、全議員29名トータルで3,915,000円の歳出が削減されます。

このほか、令和2年度は、各常任委員会・議会運営委員会・広報委員会の行政視察の中止を決定したことにより、さらに3,030,000円の歳出を削減します。



← 提出者を代表し、提案理由の説明を行う森戸議員



これらの削減額は、合計12,498,000円になります。  
次期開催の9月定例会では、この金額を議会費から減額し、「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積み立てる補正予算が提出される予定です。

# 6月定例会で決まったこと(主な議案等)

6月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。  
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。  
下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



## 一般会計補正予算(第3号)

議案第40号  
令和2年度栃木市一般会計補正予算(第3号)

**可決** 賛成 24  
反対 4

### 議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ10億9999万6千円を追加計上し、予算総額を838億1062万9千円とするもの。

主な内容は、子育て世帯プラスサポート給付金支給事業費、新型コロナウイルス感染症対策事業費、新型コロナウイルス感染症対策基金積立金、小中学校ICT環境整備事業費の新規計上などである。

### 主な質疑応答

**質** 子育て世帯プラスサポート給付金支給事業とは

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、中学生以下の子どもがいる世帯に対し1万円を支給するものである。

**質** 新型コロナウイルス感染症対策事業で第二種感染症指定医療機関に支給する補助金の使途は

**答** CT撮影装置やトリアージ用陰圧テントなど、院内感染防止対策に使用していただく。

**質** 小中学校ICT環境整備事業とは

**答** 児童生徒がタブレットを用いて学習する場合や、学校と家庭のオンライン化を図る準備として、各小中学校内に通信ケーブル等を整備するものである。

## 栃木市民憲章を制定

議案第48号  
栃木市民憲章の制定

**可決** 全会一致

### 議案の概要

まちづくりをする上での市民の心構えや、行動指針として、市民憲章を制定するもの。

【栃木市民憲章】(本文のみ掲載)

- 一、笑顔であいさつを交わり、相手を思いやります
- 一、自然と伝統を大切にし、美しい環境をつくります
- 一、交通安全や防災を心がけ、互いに助け合います
- 一、健やかなからだをつくり、生きがいをもって働きます
- 一、広い視野で多くを学び、まちづくりに参加します

### 主な質疑応答

**質** 制定に至る経緯は

**答** 第1回目の市民憲章審議会を昨年6月に開催し、市民からキーワードを募集することを決定した。

### 質 普及啓発活動は

**答** 8月から9月にかけて、キーワード等の募集結果を踏まえた素案の作成や、解説文等について検討を重ね、11月に議員研究会において素案の説明を行った。また、12月から1月までパブリックコメントを実施し、今年の3月に審議会から最終案の答申をいただいた。

**質** 普及啓発活動は

**答** 10月10日に開催予定の「新生栃木市10周年記念式典」で発表した後、市内75施設に市民憲章の掲額を予定している。また、ホームページや広報紙等への掲載のほか、成人式などの式典時、各種団体の総会等で唱和していただければと考えている。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案名と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 議案第 40号 ●川上 均議員、●針谷育造議員、○関口孫一郎議員
- 議員案第 1号※ ●内海まさかず議員 ※議員案の内容については5ページをご覧ください。
- 議員案第 2号※ ●内海まさかず議員
- 陳情第 1号 ○内海まさかず議員、○針谷育造議員、○白石幹男議員

**討論(議員案第1号・2号)**

**反対**

削減理由を新型コロナウイルスの影響で苦しむ市民に寄り添うためとするならば、議員報酬5%、政務活動費50%の削減では十分とは言えない。また、議員報酬は、我々が議員活動をしていく上で必要であり、新型コロナウイルス対策の財源とするものではないと考え、反対する。

**討論(議案第40号)**

**反対**

補正額約7億円の小中学校ICT環境整備事業費・校内通信ネットワーク整備に関して、新型コロナウイルスの中では、先生を増やし少人数学級とすることが最優先ではないか。この事業の効果は、先生と子どもたちにゆとりがあつてこそ、実るものであると考え、「反対する」。

**賛成**

この補正予算は、莫大な金額であるにもかかわらず、教育委員会の考えも聞かずに提案された。ICT教育導入後、教育がどう変わるのか、今後の教育の在り方も検討されていないことから、「反対する」。

小中学校ICT環境整備事業費は、国が進める「GIGAスクール構想」の実現のため、校内の通信ネットワークを整備するものである。

本市の将来を担う子どもたちのメリットにつながるものと考え、賛成する。

### 議案等の審議結果

6月定例会では、議案16件、議員案2件、陳情1件が審査され、その内、全会一致は15件、賛否が分かれた議案等は4件でした。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。  
 ※表中の会派名は、令和2年6月24日(6月定例会最終日)現在です。 賛成：○、反対：●

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26	27	28	29	30
			森戸 雅孝	小平 啓佑	浅野 貴之	川上 均	大浦 兼政	古沢 ちい子	大谷 好一	坂東 一敏	青木 一男	茂呂 健市	内海まさかず	小久保かおる	針谷 育造	氏家 晃	入野 登幸子	千葉 正弘	白石 幹男	永田 武志	福富 善明	広瀬 義明	関口 孫一郎	針谷 正夫	大阿久 岩人	松本 喜一	梅澤 良江	梅澤 米満	福田 裕司	中島 克訓	天谷 浩明
議員案第1号	栃木市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員案第2号	栃木市議会政務活動費の交付の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和2年度栃木市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情書	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



針谷 正夫 議員  
弘毅会

### 自動運転サービスを生かした東武金崎駅周辺のまちづくりを

中山間地での人の移動や物流の確保などを目的に、平成29年、国土交通省により、「道の駅にしかた」を拠点とした自動運転サービスのの実証実験が全国で初めて行われた。

国は、無人自動運転サービスの普及に向け、工程表を示し、計画策定などで自治体を支援する事業も始めた。

東武金崎駅周辺で「道の駅にしかた」を拠点とした自動運転サービスを生かしたまちづくりを進めてはどうか。

答弁 小保方総合政策部長

先進的なまちづくりの手段の一つとして検討を進める

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 東武金崎駅周辺地域拠点形成プロジェクト

平成29年に「道の駅にしかた」で行われた実証実験では、西方地域の住民、約70名がモニターとして自動運転車両に乗車し、体感されたところである。

現在、本市においては、主にふれあいバスが市内各地域間を移動する公共交通機関として利用いただいているが、各地域内での細やかな移動方法の一つとして、自動運転サービスは有効なものと考えるところである。

今後も、国等の制度にも注視し、先進的なまちづくりの手段の一つとして検討を進めていく。



今後の活用が期待される自動運転サービス車両

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海まさかず 議員  
創志会

### 学校休業は教育現場にどのような影響を与えたか

学習の遅れやカリキュラムの遅れに関する対応及びその成績評価はどのようにするのか。子どもの心身、生活習慣に関する状況把握は行ったのか。

また、オンライン配信授業の研究、環境整備についてどう考えるか。

休業中には学校とのつながりや先生からの連絡、直接的な対話が欲しい。それは、子どものモチベーションとなる。この休業期間中、学校の顔が見えない。何もやっていないのでは。先生は何をしているのかとの声にどう答えるか。

答弁 青木教育長

ウェブを活用した効果的な学習の研究を今後進めていく

休校中には、学習プリント等の

- 新型コロナウイルス対応
- 水害対策
- 避難所運営

課題配付・回収、動画の作成・配信をするなどして児童生徒が意欲的に学べるよう各校で工夫していた。

再開にあたっては、授業時数を確保するため、各校においてカリキュラムを再編成して対応している。

成績評価については、再開後の授業評価に加えて、休校中の学習状況についても適切に評価していく。

休校中は、各校で家庭訪問や電話連絡等を行い、子どもたちの心身の健康や家庭生活の様子を把握していた。学校再開が決まってからは、分散登校の機会を活用して個別面談等を行い、児童生徒の不安を取り除き、安心して登校ができるように準備期間を設けた。

今後は、文部科学省が推進するGIGAスクール構想の実現を目指すとともに、ウェブを活用した効果的な学習についての研究を進めていく。





浅野 貴之 議員  
誠心

### 融資期間、据置期間の さらなる拡充を

新型コロナウイルス感染症は地域経済にも大きな影響を与えている。

本市では、「中小企業緊急景気対策特別資金」を中心に資金繰り対策を行っているが、その申込み状況や主な相談例を伺う。

併せて、融資期間5年以内、据置期間6か月以内である条件を拡充し、さらに使い勝手のよい制度に改良すべきと考えるが今後の方針について伺う。

答弁 福原産業振興部長

### ニーズに対応できるよう 見直しを図っていく

「中小企業緊急景気対策特別資金」の申込み状況は、本年5月末現在で140件、9億7970万円の融資額となっている。昨年度は

### ●新型コロナウイルス感染症対策

2件のみの申込みであったが、今年度は非常に多くの申込みとなり、本融資の内容や申込み手続き、他の融資との違い等、問合せや相談も数多く寄せられている。

本市では、市の融資利用者の信用保証料を全額補助しており、さらに、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方の融資については、県の融資利用者も含め、5年間の利子を補助する支援を行っている。

なお、県内で5年を超える利子補助を行っている自治体はない。今後においても引き続き融資利用者などのご意見、ご要望を伺いながらニーズに対応できるように、適宜、見直しを図っていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



広瀬 義明 議員  
無会派\*

### 万全の備えが 市民の生命を守る

本市職員で新型コロナウイルス感染症罹患者との対応を特に求められるのは、常備消防の救急搬送に従事する職員である。

新型コロナウイルスに限らず、様々な感染が疑われる搬送者からの二次感染を防ぐ、すなわち蔓延化阻止の観点からも万全な資器材の配備が重要である。

さらに、感染の危険にさらされながらも責務を果たす職員への対応も必要と考えるが、消防に対する物心両面を補完することへの、執行部の見解を伺う。

答弁 小島消防長

### 県内消防本部の動向を 見ながら、検討していく

新型コロナウイルス感染症拡大

### ●新型コロナウイルスへの消防の 影響と対策

○休校による児童生徒たちへの影響

により、全国的にマスク、感染防護服、消毒薬等の救急資器材の不足が一時的に生じたが、本市では、保有している救急資器材で対応したところである。

今後の対策としては、今回の新型コロナウイルス感染症対応で使った救急資器材数を参考に、マスク、感染防護服、消毒薬等の確保や、消毒・除染のできる設備の、計画的な整備の検討をしていく。

また、感染症搬送業務に従事した職員への危険手当については、県内消防本部の動向を見ながら、検討していく。

さらに、消防職員が新型コロナウイルスに感染した場合には、「栃木市消防本部・消防署における新型コロナウイルス等感染者発生時の対応マニュアル」に基づき、適切に対応していく。

\*会派名は6月10日時点



針谷 育造 議員  
創志会

**営利目的企業の、固定資産  
税免除は認められない**

完成後のスタジアムの固定資産税見込みは、200万から300万と聞いている。収益事業を行わない非営利団体でも入場料を取れば固定資産税は徴収される。まして入場料を取る民間営利企業の固定資産税を免除することは法を逸脱し、市民感情からも認められない。苦勞して税金を納めている市民への説明をどのようにするのか、説明責任が問われている。

**答弁** 小保方総合政策部長

**本市及び市民への影響や  
効果などを慎重に判断している**

市税条例第71条において、市長が固定資産税の減免が必要であると認めるものを定めており、市税条例施行規則第34条において、減

●サッカースタジアム  
○合併10年の総括

免が必要であるものを具体的に規定している。

市税は法に則り、公正かつ公平に扱うことで成り立っており、減免においても恣意的な運用が行われないよう具体的な対象者を条文に定めているが、市長は、具体的に挙げられた対象者の他、公益上その他特別な理由があるものに減免を認めることができることとなつている。

減免の適用については、減免対象者、減免対象物の公益性、本市及び市民への影響や効果などを慎重に判断し、公正、公平な運用を行うこととしている。



説明責任が問われている  
スタジアム建設

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



天谷 浩明 議員  
誠心

**巴波川の改修と合わせて  
総合的に進めては**

沼和田町の中央を東南に流れている用排水路は、毎回、雨量が20ミリ以上になると、水路の水は道路面と同じになり、溢水の状況となり、住民は不安を強いられている。

さらに、旧大平町と旧栃木市の境界付近の水路が全然整備されていないようである。状況把握と今後の整備状況を伺う。

**答弁** 濹江建設部長、福原産業振興部長

**地元の用水組合や  
土地改良区と調整を  
図りながら検討していく**

地域境における用排水路の状況については、上流側の水路断面と下流側の水路断面に違いがあるこ

○教育改革  
●沼和田町の用排水路改修

とから、毎年の台風や大雨時には、下流の水路に負荷がかかり、溢水被害が発生していることは把握しており、対応等が必要と考えている。

市としては、牛久、横堀地区の被害を解消するには、雨水排水処理対策として、調整池の整備や用水路の拡幅、さらには、一級河川巴波川における強制排水施設の設定などを含め、効果的な対策を検討する必要があると考えているため、今後、関係課を中心に、地元の用水組合や土地改良区と調整を図りながら検討していく。



溢水状態となる  
沼和田町地内の排水路



白石 幹男 議員  
日本共産党栃木市議団

**使用料の全額免除は市財産  
条例に抵触するのでは**

（株）日本理化学工業所との覚書では、土地使用料を栃木市公園条例の規定により全額免除するとし、免除年数の上限を10年間としているが、公益上その他の特別の理由があると認める根拠、免除年数を10年間とする根拠について伺う。

また、栃木市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例に規定する「無償貸し付けできる法人」に当てはまらず、条例に抵触すると思われるが、見解を伺う。

**答弁** 小保方総合政策部長

**市財産の交換、譲与、  
無償貸付け等に関する条例  
は適用していない**

サッカー専用施設は、費用の全てが設置者の負担で整備され、市

- 災害対策
- サッカースタジアムの建設
- 平和行政

民にもスポーツ観戦の機会が提供され、開放も行われる施設である。この施設を利用した取り組みは、栃木市の全国に向けたPR周知、市への経済貢献、岩舟地域の活性化への寄与、さらには市民の一体感の醸成にもつながると考える。

免除年数については、安定的に市で活動する環境が必要であるため、長期的であることが望まれるが、覚書では、都市公園法の認める許可年限の上限である10年とし、免除期間も許可期間と合わせるものとした。

また、今回の岩舟総合運動公園内への設置については、市公園条例により有償での許可で減免としており、市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例は適用していない。



工事の進むサッカースタジアム建設現場

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



川上 均 議員  
日本共産党栃木市議団

**介護・障がい者施設で  
クラスターが発生した場合  
の対策は**

障がいを持つお子さんのいる介護施設に勤務する女性から、勤務先の介護施設やお子さんが利用している障がい者施設で新型コロナウイルス感染症が広がった場合、仕事を辞めるか解雇されるかもしれないとの声があった。

介護施設や障がい者施設などの福祉施設でクラスター感染が発生すると受け入れ先などの困難が予想されるが、対策について見解を伺う。

**答弁** 藤田保健福祉部長

**地域包括支援センターや  
障がい児者相談支援センターが  
後方支援を行う**

入所施設でクラスター感染が発

- 保育関係の新型コロナ対策と対応
- 学校関係のコロナ対策、対応
- 新型コロナでの国、県、市の支援策
- 新型コロナ対策での医療、介護、障がい者施設等への対応

生した場合、濃厚接触が疑われる利用者は、入所施設では個室隔離や施設内感染予防のための場所を分けた対応により、防護服等を着用した職員がケアを行い、併せて施設内の消毒を行う。

また、通所施設で発生し、事業所が感染拡大防止のため、休業する場合には、利用者は自宅待機のうち家族介護を基本とするが、自宅での介護が困難な場合は、利用者の状況に合わせて介護支援専門員等が代替サービスを調整することとなり、地域包括支援センターが後方支援を行う。

なお、障がい者施設もこれに準じた取扱いとなり、後方支援としては障がい児者相談支援センターがその役割を担うことになる。



コロナ対策をして入浴準備



小平 啓佑 議員  
栃木政策研究会\*

**職員が感染した場合の  
危機管理と業務継続の  
マニュアルは**

栃木市は独自の非常事態宣言を  
発令し、新型コロナウイルス感染  
症への危機感を表明した。

消毒の範囲や休業の範囲などを  
含め、職員の中で感染者が出た場  
合の対応マニュアルは作られてい  
るのか伺う。

答弁 大野財務部長

**非常時における業務継続の  
方法についてマニュアルを  
取りまとめたい**

感染症に対応するマニュアルと  
しては、平成29年度に策定した「栃  
木市健康危機管理対応マニユア  
ル」があるが、施設の消毒や封鎖  
など感染者が発生した場合に取る  
べき具体的な行動や基準に関する

- 水害対策
- 新型コロナウイルス対策

定めがないため、より具体的な行  
動規範となるマニュアルの検討を  
開始した。

また、職員の中から感染者が発  
生した際の庁舎管理の考え方に  
ついては、本庁舎は各フロア単位で  
閉鎖、総合支所や小規模施設は全  
館閉鎖とした上で、当該職員及び  
接触者の行動範囲を速やかに消毒  
し、本庁舎については、1階商業  
施設と連携しながら対応していく。

庁舎を閉鎖した場合、市民サー  
ビスへの影響を最小限にとどめる  
ため、他の施設等で業務を行うこ  
とになるが、十分な対応が困難な  
ため、現在これまでの取組を検証  
しているので、非常時における業  
務継続の方法について、6月中旬  
に取りまとめたい。



※会派名は6月11日時点

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



**(仮称)文学館の改修工事等  
を視察しました**

6月24日開催の議員研究会において、現在改修工事中の(仮称)栃木市文学館(旧市役所別館)を視察しました。

当日は、隣接して建設中の(仮称)栃木市文化芸術館の現場も見学いたしました。

両施設とも、令和4年度中の開館を予定しています。



現地では担当課から現在の状況について、説明を受けました。

6月定例会では、新型コロナ  
ウイルス感染拡大防止のため、  
各会派において、一般質問の  
登壇者を絞ることや、重複し  
た質問を行わないなど、会議  
時間の短縮に努めました。



## ▶ 日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう 意見書提出を要請する陳情書

本市議会では行政に対する市民の意見・要望等について、請願や陳情という形で受け付けております。今定例会では、安保破棄栃木県実行委員会・栃木県平和委員会より5月19日付で陳情書が提出されました。

これを受けまして、本市議会では本陳情を総務常任委員会に付託し、審議をいたしました。

総務常任委員会では、本陳情を不採択とすべきとの立場から、「外交や防衛など安全保障に関することについては、引き続き国が責任をもって取り組むべきである。」という意見や、「我々が日々安全に生活できているのは、日米安全保障条約や日米地位協定によるところも大きいと思われる。」などの意見がありました。また、本陳情を採択すべきとの立場からは、「様々な問題に対する民意を地方議会から届けることも重要である。」といった意見がありました。

その後、本会議で採決の結果、本陳情は不採択となりました。

### 【陳情の趣旨】

全国知事会が平成30年7月に国に提出した「米軍基地負担に関する提言」で提起している下記事項について、早期の実現を求める意見書を国に提出していただくよう陳情する。

#### 記

- 米軍機による低空飛行訓練等については、国の責任で実態調査や事前情報提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の不安を払拭した上で実施するよう、十分配慮すること。
- 日米地位協定を抜本的に見直し、航空法、環境法令などを原則として米軍にも適用させることや、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立ち入りの保障などを明記すること。

## ▶ 市議会広報委員会

### 新しいメンバーが決まりました

市議会広報委員会のメンバーが新しくなりました。より皆さまに読んでいただけるよう、「市議会だより」の作成に取り組んでまいります。

広報委員会の様子  
(6月11日撮影)



### 【各委員の抱負】

- ・古沢 委員長 読者の求める情報発信を意識し、伝わる市議会だよりを目指します。
- ・小平副委員長 副委員長として委員長を補佐し、開かれた「議会だより」づくりを進めていきます。
- ・森戸 委員 見やすく分かりやすい、議会をより身近に感じられる「議会だより」を目指していきます。
- ・浅野 委員 議会活動や議論の内容を分かりやすく、親しみやすくお伝えできるよう努力いたします。
- ・川上 委員 2期目の広報委員となりました。取り組んできた経験を生かし、邁進してまいります。
- ・青木 委員 議会活動などが市民の皆様にも身近に感じられるような紙面づくりに努めてまいります。
- ・内海 委員 多くの市民の皆様にも分かりやすく、親しまれる紙面づくりを心掛けていきたいと思っております。
- ・福田 委員 市民の皆様が求める内容や、議会活動全般について、親しまれる広報紙作成を目指します。
- ・中島 委員 分かりやすい内容、誰もが手に取りたくなる表紙、こんな議会だよりを作りたいと思っております。

# 支出の透明化を図れるよう 昨年度の収支状況を報告します

## 政務 活動費

政務活動費の使途の透明性・公開度を高めるため、平成30年度から領収書などの全ての収支関係書類をホームページで公開しているよ



### 令和元年度政務活動費交付金収支状況 (平成31年4月～令和2年3月)

※会派議員数は令和2年3月末現在、( ) 内数字は再掲  
※政務活動費の基準日は各月の初日

(単位：円)

会派名	日本共産党 栃木市議団	公明党 議員会	弘毅会 (4月～ 6月)	弘毅会 (7月～ 3月)	創志会	誠心	栃木 未来	栃木政策 研究会	明政	無会派 広瀬義明	無会派 永田武志 (7月～ 3月)	無会派 梅澤米満 (7月～ 3月)	計	
議員数(名)	2	3	(4)	2	5	4	4	3	3	1	1	1	29	
議員数変更 時期等	—	—	6月30日 2名離脱	—	—	—	—	—	—	—	7月1日	7月1日		
交付上限額	720,000	1,080,000	360,000	540,000	1,800,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	1,080,000	360,000	270,000	270,000	10,440,000	
交付決定額	519,507	535,778	43,455	276,076	527,844	194,025	1,166,197	910,558	1,061,282	56,688	124,398	269,163	5,684,971	
支出 額 内 訳	1 研究 研修費	250,934	30,003	0	97,600	2,660	0	65,692	198,600	0	0	0	645,489	
	2 調査 旅費	0	256,493	0	100,186	347,880	100,187	907,815	687,528	680,861	0	111,800	226,953	3,419,703
	3 資料 作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4 資料 購入費	234,027	205,350	27,378	47,838	83,838	47,684	182,520	125,980	111,143	40,800	0	36,000	1,142,558
	5 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7 その他 の経費	34,546	43,932	16,077	30,452	93,466	46,154	75,862	31,358	70,678	15,888	12,598	6,210	477,221
執行率(%)	72.2	49.6	12.1	51.1	29.3	13.5	81.0	84.3	98.3	15.7	46.1	99.7	54.5	

令和元年度政務活動費交付上限額 月額3万円×12か月×29人 …… 10,440,000円 (A)

令和元年度政務活動費交付決定額 …… 5,684,971円 (B)

執行率 **54.5%** (B/A)

## ▶ 新型コロナウイルス感染症に関する補正予算等を全会一致で可決（5月臨時会）

5月11日に開催された臨時会では、冒頭、大川市長より、本市独自の非常事態宣言を行った経緯について説明を受けました。

また、全国民へ一律10万円を給付する特別定額給付金や、休業要請に協力した市内の企業などに市独自の協力補助金を支給するための事業費など、新型コロナウイルス感染症に関する補正予算や条例が審議され、全会一致で可決されました。

提案理由の説明をする大川市長



## ▶ 市議会における新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み



本市議会では、5月臨時会、6月定例会などにおいて、全議員の発熱・体調チェックを実施し、手洗い・手指消毒の徹底、マスクの常時着用、会議時の身体的距離の確保、会議時間の短縮、議場や会議室の換気等に努めました。

また、傍聴席においても、十分な間隔を保つため、座席数を制限させていただきました。

議場の各座席間には、飛沫感染防止のためのパーティションを設置



表紙の写真

## ありがとう！力を合わせて乗り越えよう！

栃木市の地域医療を支える現場で働かれている医療従事者の皆さまです。高齢化、医療ニーズの多様化等、医療を取り巻く環境は変化し続けています。

そのような中で、地域に根ざした病院として、若い人からお年寄りまで安心して暮らせる「地域完結型医療」を提供するために、皆さまの毎日に寄り添い、尽力されている方々です。力強く、素敵な笑顔を頂きました。ありがとう。

(撮影協力：とちぎメディカルセンターしもつが 表紙撮影：小平・浅野委員)



議会を見る方法は

テレビでも、パソコンでも、スマホでもOK

その1 傍聴席から

予約は要りません。市役所4階に直接おいでください。  
(感染症等の状況により、傍聴の自粛をお願いする場合があります。)

その2 ケーブルテレビ112chで生中継

主に、一般質問の様子をお届けしています。



その3 インターネットで生中継

ホームページからご覧ください。本会議を全て配信しています。



その4 インターネットで録画放送

過去の本会議が見られます。  
スマホなどでQRコードを読み取ると簡単です。



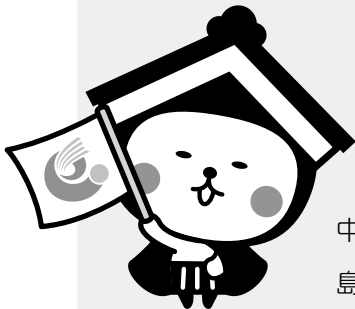
9月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28 本会議 議案等提案	29
30	31	9/1	2	3	4	5
本会議 『一般質問』						
6	7	8	9	10	11	12
常任委員会・決算特別委員会 分科会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)						
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
決算特別委員会 会派代表質疑 分科会長報告						
27	28	29	30	10/1	2	3
本会議 議案等採決						

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、8月27日(木)に新聞折り込みを予定しています。

オレンジ色の新聞折り込みチラシ裏面で「一般質問」をチェック! 気になる話題があるかもしれません。

なお、一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。



栃木市  
マスコットキャラクター  
とち介

委員長  
副委員長

古川 浅 森 小 古  
平 沢  
野 戸 啓 ち  
上 野 平 啓 子  
海 木 上 野 戸 啓 ち  
ま さ か 貴 雅 啓 ち  
さ か 貴 雅 啓 ち  
ず 男 均 之 孝 佑

栃木市議会広報委員会  
新型コロナウイルス、昨年の台風災害と二重の苦難におかれています市民生活の中での6月議会となりました。議会会期は短縮せずに新型コロナウイルス対策など、可能な限り市民の声を届ける議会になったと思います。今回の議会だよりから広報委員も新メンバーとなりました。紙面づくりでも市民の皆さんの期待に応えられるよう、一同努力する決意です。  
また、より良い紙面づくりへの機会でもありますので、皆さんのご意見をお待ちしております。  
(川上 均 記)

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。(TEL: 0282-21-2505)